

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 4 月 20 日 (2006.4.20)

【公開番号】特開 2000-287149 (P2000-287149A)
 【公開日】平成 12 年 10 月 13 日 (2000.10.13)
 【出願番号】特願 平 11-87212

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

H 0 4 N 5/44 (2006.01)

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/91 L

H 0 4 N 5/44 A

H 0 4 N 5/92 H

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 1 日 (2006.3.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の方式を用いて圧縮符号化されているテレビジョン放送信号を受信する受信装置において、

ユーザからの操作コマンドを入力する入力手段と、

前記操作コマンドに対応して、前記デジタルテレビジョン放送信号を受信する受信手段と、

前記操作コマンドに対応して、前記所定の方式を用いて圧縮符号化されて記憶媒体に記憶されている AV 信号を再生する再生手段と、

前記受信手段が受信した前記テレビジョン放送信号、または前記再生手段が再生した前記 AV 信号を復号する復号手段と、

前記復号手段が復号した前記テレビジョン放送信号、または前記 AV 信号に、複製を抑止するための情報を付加する付加手段と

を含むことを特徴とする受信装置。

【請求項 2】

前記復号手段は、前記受信手段が受信した前記テレビジョン放送信号、および前記再生手段が再生した前記 AV 信号に対して兼用される

ことを特徴とする請求項 1 に記載の受信装置。

【請求項 3】

前記付加手段は、前記復号手段が復号した前記テレビジョン放送信号および前記 AV 信号に対して兼用される

ことを特徴とする請求項 1 に記載の受信装置。

【請求項 4】

前記所定の方式は MPEG 2 方式である

ことを特徴とする請求項 1 に記載の受信装置。

【請求項 5】

前記記憶媒体は DVD である

ことを特徴とする請求項 1 に記載の受信装置。

【請求項 6】

前記入力された操作コマンドが、前記テレビジョン放送のチャンネルの選局を指令したか、前記 AV 信号の再生を指令したかを判定する判定手段を

さらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の受信装置。

【請求項 7】

前記受信手段が受信した前記テレビジョン放送信号を前記記憶媒体に記録する記録手段を

さらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の受信装置。

【請求項 8】

前記復号手段が復号した前記テレビジョン放送信号、または前記 AV 信号に対応する画像を表示する表示手段を

さらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の受信装置。

【請求項 9】

所定の方式を用いて圧縮符号化されているテレビジョン放送信号を受信する受信装置の受信方法において、

ユーザからの操作コマンドを入力する入力ステップと、

前記操作コマンドに対応して、前記デジタルテレビジョン放送信号を受信する受信ステップと、

前記操作コマンドに対応して、前記所定の方式を用いて圧縮符号化されて記憶媒体に記憶されている AV 信号を再生する再生ステップと、

前記受信ステップで受信した前記テレビジョン放送信号、または前記再生ステップで再生した前記 AV 信号を復号する復号ステップと、

前記復号ステップで復号した前記テレビジョン放送信号、または前記 AV 信号に、複製を抑止するための情報を付加する付加ステップと

を含むことを特徴とする受信方法。

【請求項 10】

所定の方式を用いて圧縮符号化されているテレビジョン放送信号を受信する受信装置に

、

ユーザからの操作コマンドを入力する入力ステップと、

前記操作コマンドに対応して、前記デジタルテレビジョン放送信号を受信する受信ステップと、

前記操作コマンドに対応して、前記所定の方式を用いて圧縮符号化されて記憶媒体に記憶されている AV 信号を再生する再生ステップと、

前記受信ステップで受信した前記テレビジョン放送信号、または前記再生ステップで再生した前記 AV 信号を復号する復号ステップと、

前記復号ステップで復号した前記テレビジョン放送信号、または前記 AV 信号に、複製を抑止するための情報を付加する付加ステップと

を含む処理を実行させるコンピュータが読み取り可能なプログラムを提供することを特徴とする提供媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明の受信装置は、ユーザからの操作コマンドを入力する入力手段と、操作コマンドに対応して、デジタルテレビジョン放送信号を受信する受信手段と、操作コマンドに対応して、所定の方式を用いて圧縮符号化されて記憶媒体に記憶されている AV 信号を再生する

再生手段と、受信手段が受信したテレビジョン放送信号、または再生手段が再生したAV信号を復号する復号手段と、復号手段が復号したテレビジョン放送信号、またはAV信号に、複製を抑止するための情報を付加する付加手段とを含むことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の受信方法は、ユーザからの操作コマンドを入力する入力ステップと、操作コマンドに対応して、デジタルテレビジョン放送信号を受信する受信ステップと、操作コマンドに対応して、所定の方式を用いて圧縮符号化されて記憶媒体に記憶されているAV信号を再生する再生ステップと、受信ステップで受信したテレビジョン放送信号、または再生ステップで再生したAV信号を復号する復号ステップと、復号ステップで復号したテレビジョン放送信号、またはAV信号に、複製を抑止するための情報を付加する付加ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の提供媒体は、ユーザからの操作コマンドを入力する入力ステップと、操作コマンドに対応して、デジタルテレビジョン放送信号を受信する受信ステップと、操作コマンドに対応して、所定の方式を用いて圧縮符号化されて記憶媒体に記憶されているAV信号を再生する再生ステップと、受信ステップで受信したテレビジョン放送信号、または再生ステップで再生したAV信号を復号する復号ステップと、復号ステップで復号したテレビジョン放送信号、またはAV信号に、複製を抑止するための情報を付加する付加ステップとを含む処理を受信装置に実行させるコンピュータが読み取り可能なプログラムを提供することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明においては、入力手段が、ユーザからの操作コマンドを入力し、受信手段が、操作コマンドに対応して、デジタルテレビジョン放送信号を受信し、再生手段が、操作コマンドに対応して、所定の方式を用いて圧縮符号化されて記憶媒体に記憶されているAV信号を再生し、復号手段が、受信手段が受信したテレビジョン放送信号、または再生手段が再生したAV信号を復号し、付加手段が、復号手段が復号したテレビジョン放送信号、またはAV信号に、複製を抑止するための情報を付加する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

【発明の効果】

以上のように、本発明によれば、受信したテレビジョン放送信号、またはDVD-Videoか

ら再生したAV信号を復号する復号手段を共用するようにしたので、DVD-Videoを再生可能な受信装置の低コスト化、および省スペース化が可能となる。